整理No.	96

平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

【１．施策名】

施策コード	621-02	基本施策	交通体系の整備	所管部局	企画政策部
施　策　名	利用しやすい交通環境の整備			主担当課	交通政策課
				関係部局課	都市計画課
施策の目標	地域の公共交通を社会全体で支える仕組みの構築により、様々な交通手段が円滑に機能し、使いやすく、分かりやすい交通環境の整備を目指します。				

【２．施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など
公共交通は、あらゆる人々が社会的・個人的に活動を展開するための“インフラ”であるが、施策621-01「公共交通機関の整備」は路線整備・維持を主とし、本施策621-02「利用しやすい交通環境の整備」はモビリティマネジメントなど「如何に公共交通を使っていただくか」などの利用促進を主としている。 　基本施策である「交通体系の整備」は、２つの施策の取り組みが車の両輪として機能することにより目標達成に向けた推進力となるため、施策621-01「公共交通機関の整備」と同様に、市を始めとする関係機関が連携して進めていく必要がある。

【３．施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H22）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
市内路線バスの年間利用者数	万人	717	715	740				739
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
長電バス㈱・アルピコ交通㈱長野支社の、市内を運行する路線バスの利用者 市バスの利用者	平成22年度の実績値717万人の３％増（717×1.03＝738.5→739万人） ※市が関与するバス等　コミュニティバス、乗合タクシー、中山間地域輸送システム 実績　平成24年度30万人　平成25年度29万人							

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H22）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
市内鉄道駅の年間利用者数	万人	3,895	3,876	3,916				4,012
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
ＪＲ、長野電鉄の市内駅の利用者	平成22年度の実績値3,895万人の３％増 （3,895×1.03＝4,011.85→4,012万人）							

25年度の取組内容実績	・パーク＆バスライドの実施（4/29～5/5） ・バス共通ＩＣカード「くるる」の市バス、乗合タクシーの運用開始及びＩＣカードチャージ機の増設

【４．総合評価】

総合評価　（目標値に向けて）	順調
	評価の理由・説明等
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	モータリーゼーションの進展により、公共交通である路線バス等の利用者は減少傾向にある中、使いやすいバスにするため、市バスや乗合タクシー利用へのバス共通ＩＣカード「くるる」の二次開発やＩＣカードのチャージ機増設などを実施した。 ゴールデンウィークにパーク＆バスライドを実施し、市街地へのマイカーの抑制のためバス利用の誘導を行った。 鉄道事業者及び沿線自治体等で構成する協議会に参画し、利用促進に向けた協議・検討を進めている。
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	目標値は達成している。バスの利用者数の増加は、バス共通ＩＣカード「くるる」の導入や消費税増税前の定期券購入の駆け込み需要、また鉄道については、景気回復による行楽客の増加やバスと同様に消費税増税前の駆け込み需要の影響が考えられるため、継続的な利用促進が必要である。
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	事務事業は、概ね目標を達成している。

【５．今後の展開】

	課　　題	課題解決に向けた具体的な取組
1	平成27年善光寺御開帳期間中の交通渋滞対策	善光寺御開帳期間中は、善光寺周辺及び中心市街地て著しい交通渋滞が予想される他、中心市街地へのマイカー乗り入れを抑制するため、インターネットによる交通渋滞情報の配信、パーク＆バスライド、市民向けの公共交通利用促進キャンペーン等の実施する。
2	公共交通の利用促進に向け、モビリティ・マネジメント施策の実施や、自動車利用の規制的手法の検討	「長野市公共交通ビジョン」策定（H26年度策定）の中で、利用促進に向けた取り組みを検討していく。

施策展開の方向性（H26年度以降）	・長野市公共交通ビジョンの策定及びビジョンに基づく公共交通利用促進施策の展開 ・バス共通ＩＣカード「くるる」のサービスエリア拡大 ・市営自転車駐車場の利用環境整備（防犯カメラを設置予定） ・平成27年春開業予定の しなの鉄道「北しなの線」の円滑な移行支援

【６．施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 ［事業区分］ 担当課名	事務事業の状況									
1	【再掲】長野市公共交通活性化・再生協議会負担金 ［補助金・金銭給付事業］ 交通政策課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		地域公共交通活性化・再生法に基づく「長野市公共交通活性化・再生協議会」が策定した「長野市地域公共交通総合連携計画」の事業実施に当たり、負担金を支出する。					・市バス、乗合タクシーへのＩＣカード運用開始 ・ＩＣカードチャージ機の増設				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	B	A	A	A	継続	281,070	318,640	132,022	40,606
2	パーク・アンド・バスライドシステム ［補助金・金銭給付事業］ 交通政策課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		郊外に臨時駐車場を設け、そこからシャトルバスを運行するパーク・アンド・バスライドを実施する。					善光寺西交差点の最大渋滞長は減少しており、目標の数値まで減少させることができ、交通渋滞対策事業が効果があったと考えられる。				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	A	A	B	A	継続	4,111	4,789	4,304	4,906
3	総合交通計画 ［内部管理的事業・その他］ 都市計画課	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		都市計画道路見直し案を参考に、住民意見を聴取し、関係機関との調整を図り、事業化する。					地域の構想路線について、関係地区住民自治協議会等の意見聴取を参考として、地元に具体的な説明を行った。				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		B	A	A	B	A	継続	14,680	15,267	16,491	18,640
4		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26

		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
5											
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
6											
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
7											
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
8											
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
9											
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
10											
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26